第 2 期　事業計画書

（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

1　公募助成事業

1.1　Well-being 助成事業

「”個人と社会”、“個人と地球環境”に関わる社会課題解決推進のための協働を促進する Collective Impact プロジェクト」と定義し、過去 5 期に渡りデロイト トーマツ ウェルビーイング財団の基幹事業として実施してきた「Well-being 助成事業」を発展させる形で第 1 期を実施する。

助成対象は、当財団の事業目的である、人のウェルビーイングの向上に直接関わる教育・スキル開発・機会創出、地域課題解決支援、災害復興支援、途上国支援、スポーツ交流支援、人権問題解決支援、ダイバーシティー アンド インクルージョン支援、環境問題解決支援、及びその他の公益の増進を図る事業とする。

具体的な助成事業の設計としては、以下の 2 本立てとするが、第 1 期は、②の公募助成のみ実施する。

① “個人と社会”のための Collective Impact
　～Collective Impact for Personal and Societal Well-being～

② “個人と地球環境”のための Collective Impact
　～Collective Impact for Planetary Well-being～

＜事業費予算＞　　500 万円
＜助成先の公募＞　2025 年 7 月　　※公益認定後速やかに開始
＜助成先の決定＞　2025 年 11 月　　※公募開始から 3～4 か月を目途

なお、申請共同体のうち希望する共同体に対して伴走者のマッチングを行う（下記 3 参照）。

2　寄附

国内外における紛争または自然災害等における人道支援、その他当財団の寄附金等取扱規程に従い、必要に応じて寄附を行う（予算：都度募集）。

3　伴走者マッチング・プロボノ支援

よりコレクティブに社会的インパクトを与えていく施策として、伴走者マッチング・プロボノ支援を行う。

なお、「プロボノ」は、専門スキルを活かした社会貢献活動、ボランティアは専門スキルに依拠しない社会貢献活動をいい、伴走はプロボノ・ボランティアによる社

会貢献のうち、特に支援の提供先が当財団の公募助成事業申請共同体・団体であるものをいう。

4　外部発信の強化

当財団のエミネンスを強化し、より大きな社会的インパクトを与えていくため、以下を計画している。

- 当財団の Web ページの作成と公表情報の充実
- 第 1 回 Collective Impact for Planetary Well-being フォーラムの開催
  （デロイト トーマツ ウェルビーイング財団と共催を予定）
- 当財団のアニュアルレポートの公表

5　その他

その他の活動として以下を計画している。

- 伴走システムの強化
- 助成先・伴走先との対話機会の増加（モニタリング強化）
- 報告・管理体制の強化

以上